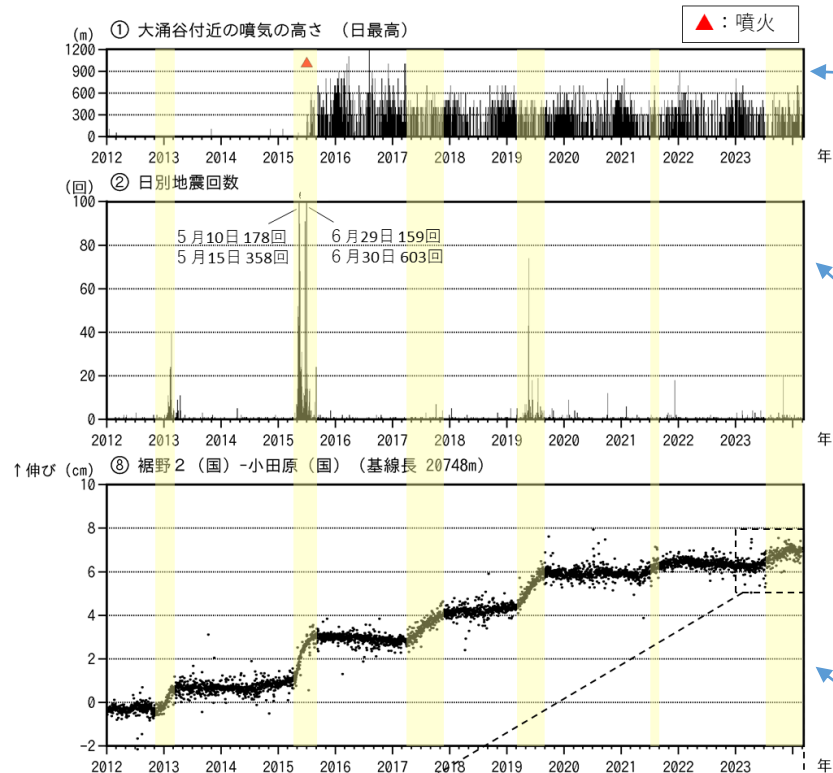


令和5年4月以降の箱根山の火山活動状況

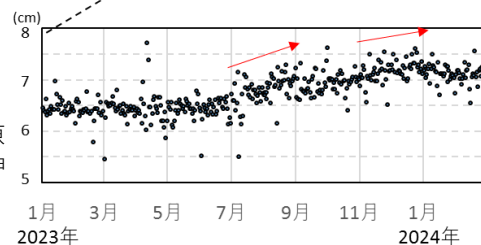
気象庁地震火山部火山監視課
火山監視・警報センター
令和6年3月28日

資料2

- 地震活動は概ね低調に経過しましたが、2023年5月2日から3日や10月31日に火山性地震が一時的に増加しました。
- GNSS連続観測では、箱根山を挟む基線で2023年7月頃から伸びがみられ、9月頃から鈍化しました。
11月頃から再び一部の基線で伸びがみられましたが、2024年1月頃から停滞しています。
- 大涌谷周辺の想定火口域では活発な噴気活動が続いています。
- 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。



火山活動経過図
(2012年1月1日～2024年2月29日)
(国)：国土地理院
(温)：神奈川県温泉地学研究所
■：裾野2(国)－小田原(国)などのGNSS基線で伸びの変化を観測した期間



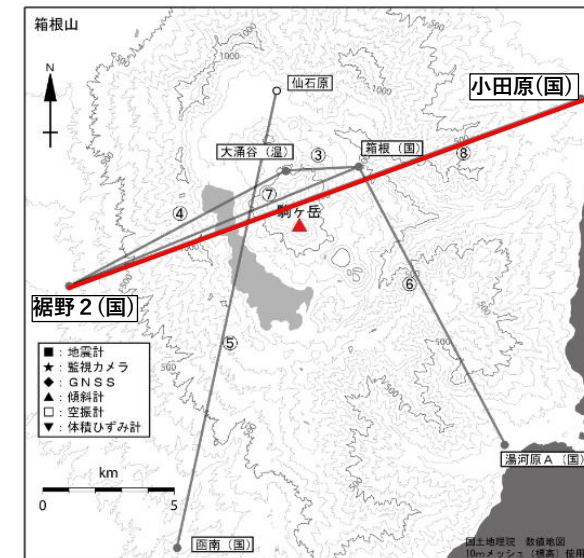
・2015年以降、活発な噴気活動が続いています。

・2020年以降、概ね火山性地震は少ない状態で経過しています。
・2023年5月2日から3日にかけて駒ヶ岳付近で、10月31日には神山付近で火山性地震が一時的に増加しました。

・GNSS連続観測では、箱根山を挟む基線で2023年7月頃から伸びがみられ、9月頃から鈍化しました。
・11月頃から再び一部の基線で伸びがみられましたが、2024年1月頃から停滞しています。
・過去の活動期（■）には、裾野2(国)－小田原(国)等の基線で伸びの変化がみられています。



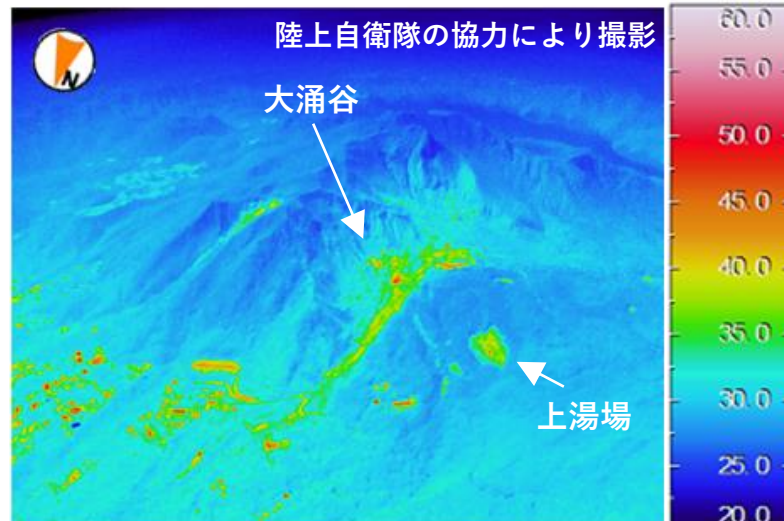
大涌谷の状況
(大涌谷監視カメラ)



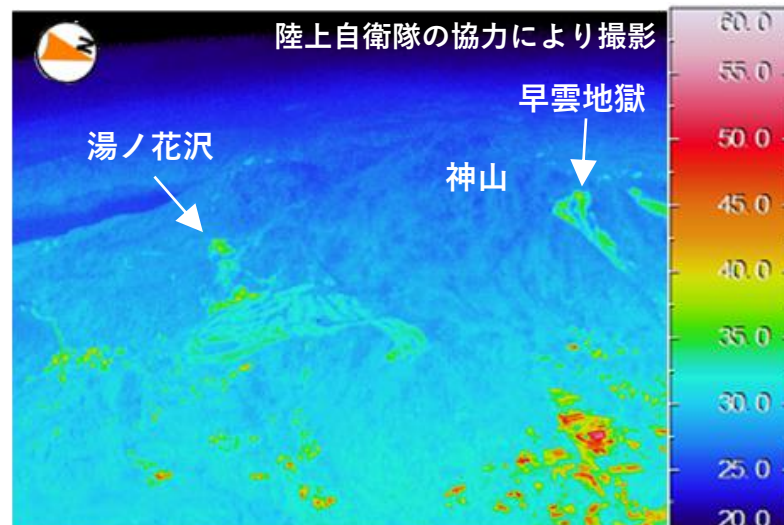
GNSS配置図
赤線は火山活動経過図⑧に対応する。

(参考)上空からの観測結果

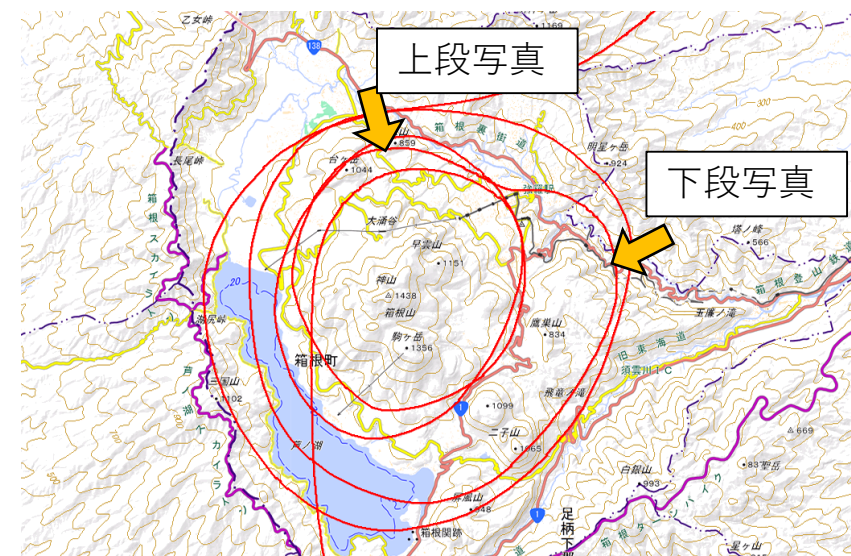
- 7月26日に陸上自衛隊東部方面隊の協力により、上空からの観測を実施しました。
- 大涌谷、早雲地獄、上湯場及び湯ノ花沢において、引き続き地熱域が観測されました。



箱根山カルデラ北側の状況 2023年7月26日 左：可視画像 右：赤外熱画像※



箱根山カルデラ東側の状況※ 2023年7月26日 左：可視画像 右：赤外熱画像※



各写真の撮影位置及び撮影方向

※日射の影響により、人工物、裸地等で表面温度が高く表示されています。

謝辞：
本観測にあたり陸上自衛隊東部方面隊にご協力いただきました。深く感謝いたします。